

独身男女555人に聞きました

男女間におけるソーシャルメディア活用調査

【ソーシャルメディアで始まる恋愛も“あり”】

ソーシャルメディアがきっかけで親しくなった異性ができた人は36.6%
彼氏・彼女ができた人も17.5%

ソーシャルメディアをきっかけに、恋が始まりやすい世代No.1は、学生！

親しくなった異性ができた人：学生46.2%、29歳以下社会人37.9%、30代社会人28.6%
彼氏・彼女ができた人：学生24.7%、29歳以下社会人15.3%、30代社会人14.1%

P.13

【ソーシャルメディア上の関係は、切っても切れない】

彼氏・彼女とソーシャルメディアでつながっている独身男女は35.1%
元カレ・元カノとも21.1%がつながってる

P.4

【積極派2割 vs 消極派8割】

彼氏・彼女とソーシャルメディアでつながりたい積極派は20%
消極派・否定派は80%

P.5

【いいこと・悪いことは裏返し】

彼氏・彼女とソーシャルメディアでつながっていて良かったこと・悪かったことランキング

- 良かったこと1位：一緒にいなくても何をしているかわかる/近況がわかる
- 悪かったこと1位：知られたくないことも知られてしまう/知りたくないことまで知ってしまう

P.7

【ソーシャルメディアは恋のハンティングツール】

男女のきっかけツールには有用だが、彼氏・彼女との関係維持ツールには不要？！

好きな(気になる)異性との“コミュニケーション”ツールとして
5割以上の男女が、ソーシャルメディアの利用に好意的

彼氏・彼女との“恋愛関係維持”ツールとしては
4割弱の男女が、ソーシャルメディアの利用に否定的

P.12

本件に関するお問い合わせ先

ソーシャルメディア実験室「アンテナ」

(株式会社 電通パブリックリレーションズ内)

担当：伊澤・細川 TEL:03-5565-8410/FAX:03-5565-4467 E-mail:lookup@sec.dentsu-pr.co.jp

企画概要

株式会社電通パブリックリレーションズでは、2012年6月、ソーシャルメディアをテーマに、ソリューション開発やノウハウ蓄積を行う社内横断組織「ソーシャルメディア実験室『アンテナ』」を設立しました。

『アンテナ』では、今年7月に、「まとめサイト」をテーマに調査を行い、「まとめサイト」が新しい情報流通構造として現代の生活に入り込み、暇つぶしメディアとしてその意義を確立させ始めていることを明らかにしました。

第2回調査では、ソーシャルメディアが、人々のコミュニケーションにどのような影響を与えているかを明らかにすべく、コミュニケーションの中でもっとも身近な題材のひとつである、男女間の恋愛コミュニケーションをテーマに、どのような役割を果たしているかを調査しました。

1都3県に住み、ソーシャルメディアを利用している15歳以上39歳以下の男女で、現在彼氏・彼女がいる、または1年以内に彼氏・彼女がいた独身の方、555人にインターネット調査を実施。学生、29歳以下の社会人、30代の社会人の男女間コミュニケーションにおけるソーシャルメディアの活用について分析を行いました。

■実施時期	2012年8月22日(水)～8月29日(水)
■調査手法	インターネット調査
■調査対象	ソーシャルメディアを利用している独身男女555人
	【内訳】
	15歳以上の学生男女158人(男性69人、女性89人)
	29歳以下の社会人男女177人(男性87人、女性90人、)
	30～39歳の社会人男女220人(男性110人、女性110人)
■居住エリア	1都3県(東京、神奈川、千葉、埼玉)

目次

調査結果からの考察	P.3
ソーシャルメディアでつながっている人は誰か	P.4
ソーシャルメディア上で、彼氏・彼女とどうありたいか	P.5
彼氏・彼女の手前、投稿する時に気をつけること	P.6
彼氏・彼女とつながっていて、良かったこと・悪かったこと	P.7
ソーシャルメディアで、彼氏・彼女との関係性は向上するのか・悪化するのか	P.8
関係性向上の理由	P.9
関係性悪化の理由	P.10
別れた二人はソーシャルメディア上の関係をどうするのか	P.11
恋愛におけるソーシャルメディアの必要性	P.12
ソーシャルメディアは恋愛に寄与するか	P.13
参考：ソーシャルメディアにおける公開情報	P.14

調査結果からの考察

アンテナ Insight !

主に友達とのコミュニケーションに利用されているソーシャルメディアですが、今回の調査で、ソーシャルメディアが、友達から一歩踏み込んだ、男女間、彼氏・彼女間のコミュニケーションにも一定の役割を担っていることが明らかになりました。

●ソーシャルメディアで、きっかけづくり

ソーシャルメディアはもともと、知り合いや友達と、時間や場所を超えて、いつでも情報共有できる点や、気軽にコミュニケーションできる点が優れていると評価されているメディアです。

遠くにいたり、長年会っていなかった友人など、物理的・心理的に距離のある人を近くに結びつけるソーシャルメディアの役割が、男女間においても有効だと捉えられていることが今回の調査でわかりました。

“友達”はもちろん、“好き・気になる異性”の情報や近況を知ることでは会話の糸口とし、彼氏・彼女へと、その関係性を発展させるための“**きっかけ作りツール**”＝“**恋のハンティングツール**”としてうまく利用していることがうかがえます。そういう意味で、ソーシャルメディアは、かつてのブログに求められた「自己表現の手段」という形から、さらに一歩進んだコミュニケーションの形といえるのではないのでしょうか。

●でも“一定の距離は欲しい”

好きな(気になる)異性との“コミュニケーション”ツールとして、5割以上の男女が、ソーシャルメディアの利用に好意的な姿勢を見せた一方で、彼氏・彼女との関係維持には不要だと考えている人が4割弱を占めたことや、8割の人が彼氏・彼女とSNS上でつながることに消極的な姿勢を見せたことから、彼氏・彼女という、精神的・物理的に近い関係になった場合、ソーシャルメディアの必要性が薄まることがうかがえます。

むしろ、**知りたくないことまで知ってしまうことや、知られたくないことまで知られてしまうこと**で、不都合が生じるケースも散見されており、会っている時はもちろん、会っていない時にまで状況を共有できることが、かえってマイナスの効果をもたらすこともあるようです。

このことから、ソーシャルメディアは、オフラインで(リアルな世界で)距離のある人とのコミュニケーションにおいては、お互いの関係性を良好・強固にする役割を担う一方で、オフラインで近い関係の場合、オンライン上でも近い関係になることが、必ずしもコミュニケーションのプラスになるとは限らない事が見て取れます。やはり、男女間においては、オフライン、オンラインのいずれにおいても、一定の距離は必要だということなのではないでしょうか。

●男女間においては、「アクティブな学生、パッシブな社会人」

ソーシャルメディアをきっかけに、異性と親しくなること・彼氏・彼女ができることにとりわけ積極的だったのが「学生」です。特に女子学生においては、30代女性社会人と大きな差がみられます。やはり、ソーシャルメディアの利用においては、学生や社会人といった各ステージで変化が大きいようです。特に30代女性社会人は顕著で、情報の量や提供先などにおいても消極的な姿勢がうかがえます。

一方、今の高校生・大学生は、物心ついたときからインターネットがある“**デジタルネイティブ世代**”であるため、オンラインのコミュニケーションも、オフラインの延長としてうまく活用していると考えられます。

●やっぱり「女子は上書き保存、男子は別名保存」

彼氏とSNS上でつながりたくないという回答についても女子学生と30代社会人で大きな差が見られました。この背景にはデジタルネイティブな10代に比べ、30代後半世代は学生の頃にネット上で彼氏と交流する習慣がそもそもなく、今さら新しく彼氏とつながることに抵抗があるという心理が影響していると思われます。

一方男性にはそういった傾向は見られず、特に元カレ・元カノについて「女子は上書き保存」「男子は別名保存」という従来言われている男女の恋愛に対する価値観の差が出ているとも考えられます。

●ソーシャルメディア上の「いいね!」は、ある意味“ボディタッチ”である!

かつてオフラインでのコミュニケーションは「リアル(現実)」、ソーシャルメディアでのコミュニケーションは「バーチャル(仮想的)」といわれた時代がありましたが、特に(生活における恋愛の重要性が高い)若い世代においては、「オフラインもソーシャルメディアもリアル(現実)」という意識が定着しつつあることが見て取れる結果になりました。オンとオフの区分けがあいまいになるにつれ、ソーシャルメディアにおいても、オフラインと同じようなマナーや作法、コミュニケーションの距離感や空気が読めるなどの“**暗黙のルール**”が生じつつあるようです。

かつて「飲み会の場で、さりげなく男性に『ボディタッチ』できる女性はモテる」などという説がありましたが、今では、「ソーシャルメディア上で、さりげなく『いいね!』ができる(マナーの良い)人はモテる」といえる時代になっているのかもしれない。

■彼氏・彼女とSNSでつながっている独身男女は35.1%。元カレ・元カノとも、21.1%がつながっている

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス 例:Facebook、mixi、twitterなど)

上でどんな人とつながっているかを聞いたところ、**1位は「友達」が圧倒的で95.3%。2位以下は、学校の「先輩・後輩」(47.6%)、「彼氏・彼女」(35.1%)、「会社の同僚」(33.5%)と続いた。**

男女差が顕著に出たのは「家族」。「家族」とつながっている男性が18.5%だったのに対し、女性は28.4%が「つながっている」と回答した。

性・ステージ属性別で特徴的だったのが、女子学生と、30代の男性社会人。女子学生は、仕事関連(会社の同僚・仕事上の関係者・上司・部下)以外の全てのカテゴリにおいて、全体値よりも高いスコアを見せた。

一方、30代男性社会人は、会社の同僚(50.0%)、仕事上の関係者(26.4%)、上司(25.5%)、部下(21.8%)と、仕事関連のカテゴリとのつながりにおいて、性・ステージ属性別で最も高いスコアをマークした。

「彼氏・彼女とつながっている」と回答した人は35.1%で、「元カレ・元カノとつながっている」人も、21.1%存在した。

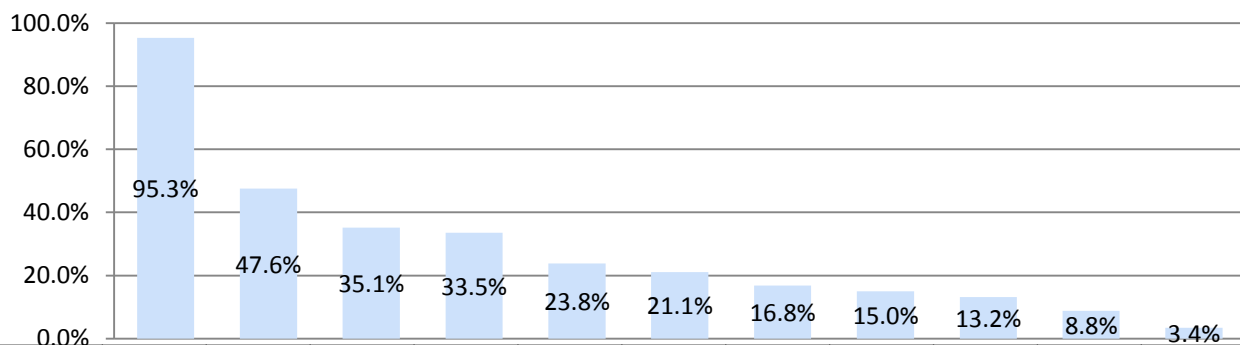
アンテナ Insight!

女子学生は、仕事関係以外の全てのカテゴリにおいて高いスコアを

マークした。属性がら、“仕事”関連の人と知り合いになる機会が少ないことを考えると、他の属性と比較して、“知り合いとは基本的にSNSでつながる”傾向が高いことがうかがえる。

携帯電話はもちろん、スマートフォンやSNSがあって当たり前の環境下にある現代の学生の中でも、新しいもの好きな女子にとって、今や、“知り合いになる→SNSでつながる”、という流れが、コミュニケーションの一環として、定着化しているのだろう。

Q. あなたはSNS(ソーシャルネットワーキングサービス 例:Facebook、mixi、twitterなど)上で、どんな人とつながっていますか?(MA)



	n	友達	学校の先輩後輩	彼氏彼女	会社の同僚	家族(親・兄弟・姉妹など)	元カレ元カノ	仕事上の関係者(顧客・取引先など)	上司	学校の先生	部下	その他
全体	555	95.3%	47.6%	35.1%	33.5%	23.8%	21.1%	16.8%	15.0%	13.2%	8.8%	3.4%
男子学生(15歳以上)	69	95.7%	63.8%	29.0%	4.3%	15.9%	20.3%	4.3%	1.4%	14.5%	1.4%	0.0%
男性社会人(29歳以下)	87	94.3%	49.4%	43.7%	41.4%	18.4%	25.3%	21.8%	16.1%	14.9%	12.6%	1.1%
男性社会人(30代)	110	95.5%	32.7%	32.7%	50.0%	20.9%	17.3%	26.4%	25.5%	4.5%	21.8%	4.5%
女子学生(15歳以上)	89	96.6%	77.5%	42.7%	9.0%	31.5%	33.7%	9.0%	4.5%	30.3%	0.0%	7.9%
女性社会人(29歳以下)	90	95.6%	50.0%	33.3%	42.2%	33.3%	16.7%	15.6%	24.4%	13.3%	7.8%	2.2%
女性社会人(30代)	110	94.5%	24.5%	30.0%	41.8%	21.8%	15.5%	18.2%	12.7%	5.5%	5.5%	3.6%
男性計	266	95.1%	46.2%	35.3%	35.3%	18.8%	20.7%	19.2%	16.2%	10.5%	13.5%	2.3%
女性計	289	95.5%	48.8%	34.9%	31.8%	28.4%	21.5%	14.5%	13.8%	15.6%	4.5%	4.5%

■明暗くっきり。彼氏とSNS上でつながりたい女子学生 vs つながりたくない30代女性社会人

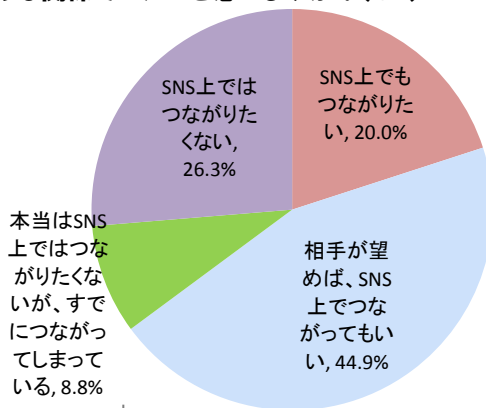
前出の質問で、「彼氏・彼女」とつながっている人は、全体で35.1%となっていたが、そのことについて、内実、どのように思っているのかを調査すべく、「SNS上で、彼氏・彼女とどのような関係でいたいのか」について尋ねた。

その結果、「SNS上でもつながりたい」と積極的な姿勢を見せたのが全体で20.0%だったのに対し、「相手が望めばつながってもいい」(44.9%)、「本当はつながりたくないが、すでにつながっている」(8.8%)、「つながりたくない」(26.3%)と、合計で80.0%の人がSNS上で彼氏・彼女とつながることに対し、消極的(ないし否定的)な姿勢を見せた。

80%の消極派のうち、許容派(相手が望めばつながってもいい)は44.9%、否定派(「本当はつながりたくないが、すでにつながっている」と「つながりたくない」の合計)は35.1%、存在した。なお、許容派は、男性(50.4%)のほうが女性(39.8%)よりも多かった。

男性は、ステージ属性別であり差が見られないが、女性は、ステージ属性別で大きく差が見られる結果に。30代の女性社会人は否定派が多く、過半数の53.6%(「本当はつながりたくないが～」「つながりたくない」の合計値)の人が、つながりたくないという心情を吐露している。ところが、10代女性は、否定派は24.7%で、30代女性の半分以上。28.1%が積極派(「つながりたい」)で、否定派を上回ったばかりか、他の性・ステージ属性の中でも、最も積極的な姿勢を見せた。

Q. あなたはSNS上で、彼氏・彼女とどのような関係でいたいと思いますか？(SA)



		積極派	消極派		
			許容派	否定派	
			相手が望めば、SNS上でつながってもいい	本当はSNS上ではつながりたくないが、すでにつながっている	SNS上ではつながりたくない
全体	555	20.0%	44.9%	8.8%	26.3%
男子学生 (15歳以上)	69	20.3%	49.3%	10.1%	20.3%
男性社会人 (29歳以下)	87	26.4%	48.3%	4.6%	20.7%
男性社会人 (30代)	110	14.5%	52.7%	8.2%	24.5%
女子学生 (15歳以上)	89	28.1%	47.2%	9.0%	15.7%
女性社会人 (29歳以下)	90	25.6%	35.6%	10.0%	28.9%
女性社会人 (30代)	110	9.1%	37.3%	10.9%	42.7%
男性計	266	19.9%	50.4%	7.5%	22.2%
女性計	289	20.1%	39.8%	10.0%	30.1%

SNS上でもつながりたい

相手が望めば、SNS上でつながってもいい

本当はSNS上ではつながりたくないが、すでにつながっている

SNS上ではつながりたくない

消極派計

否定派計

20.0%	44.9%	8.8%	26.3%	80.0%	35.1%
20.3%	49.3%	10.1%	20.3%	79.7%	30.4%
26.4%	48.3%	4.6%	20.7%	73.6%	25.3%
14.5%	52.7%	8.2%	24.5%	85.5%	32.7%
28.1%	47.2%	9.0%	15.7%	71.9%	24.7%
25.6%	35.6%	10.0%	28.9%	74.4%	38.9%
9.1%	37.3%	10.9%	42.7%	90.9%	53.6%
19.9%	50.4%	7.5%	22.2%	80.1%	29.7%
20.1%	39.8%	10.0%	30.1%	79.9%	40.1%

■投稿する内容に気をつけるのは「あたりまえ」。男性は「投稿時間帯」に気をつけている。

彼氏・彼女とつながっている場合のSNS投稿について、何に気をつけているか尋ねたところ、男女共に、「内容」が46.1%でダントツの1位。2番目に多かったのが、「特に気をつけることはない」で30.8%であった。

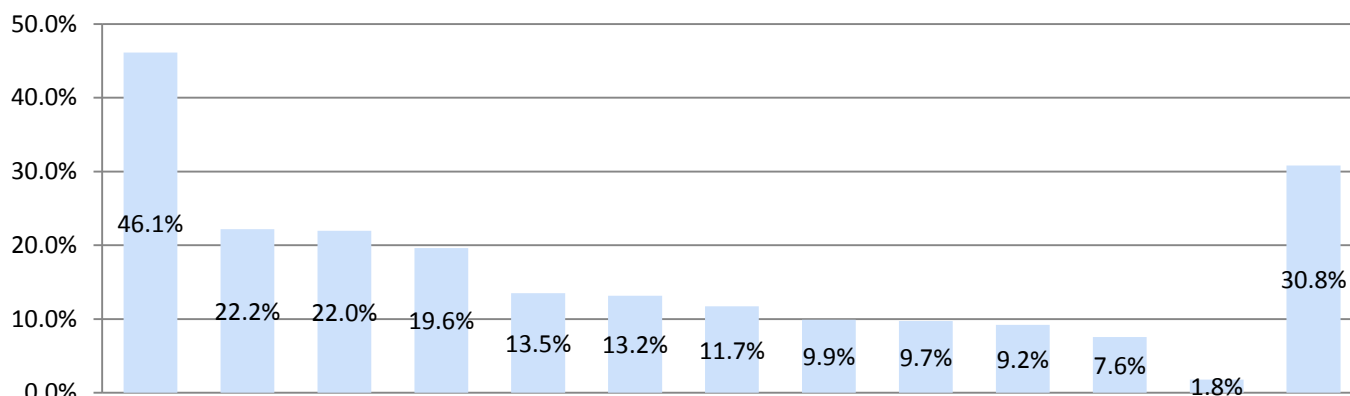
以下、「彼氏・彼女がいないところで撮影した、他の異性の友達と一緒に写っている写真は投稿しない」(22.2%)、「文体や言葉遣い」(22.0%)、「時間帯」(19.6%)が、ほぼ同割合で挙げられた。

男女差が見られたのが、「投稿する時間帯に気をつける」で、男性の25.6%が気をつける項目に挙げたのに対し、女性は14.2%にとどまった。

**アンテナ
Insight !**

女性と比較して、男性は、SNSによって、自分の浮気や嘘がとを危惧している人が多い。き込みが、かえって「彼アライバイ作りになる」(男)と回答した人もおり、た心配のある男性にとって時間帯は重要なチェックだろう。

Q. SNS上で彼氏・彼女とつながっている場合、SNSに投稿する時に、気をつけることや気遣うことはありますか？
下記の中からお選びください。（MA）



全体	555	46.1%	22.2%	22.0%	19.6%	13.5%	13.2%	11.7%	9.9%	9.7%	9.2%	7.6%	1.8%	30.8%
男子学生 (15歳以上)	69	40.6%	11.6%	31.9%	30.4%	10.1%	17.4%	5.8%	8.7%	2.9%	8.7%	4.3%	0.0%	34.8%
男性社会人 (29歳以下)	87	44.8%	26.4%	23.0%	21.8%	12.6%	12.6%	10.3%	10.3%	11.5%	11.5%	10.3%	2.3%	31.0%
男性社会人 (30代)	110	45.5%	25.5%	20.0%	25.5%	12.7%	10.9%	7.3%	11.8%	14.5%	6.4%	8.2%	1.8%	32.7%
女子学生 (15歳以上)	89	52.8%	22.5%	23.6%	18.0%	18.0%	13.5%	14.6%	13.5%	7.9%	14.6%	5.6%	2.2%	25.8%
女性社会人 (29歳以下)	90	52.2%	25.6%	22.2%	16.7%	14.4%	12.2%	17.8%	8.9%	12.2%	7.8%	7.8%	1.1%	28.9%
女性社会人 (30代)	110	40.9%	19.1%	15.5%	9.1%	12.7%	13.6%	13.6%	6.4%	7.3%	7.3%	8.2%	2.7%	31.8%
男性計	266	44.0%	22.2%	24.1%	25.6%	12.0%	13.2%	7.9%	10.5%	10.5%	8.6%	7.9%	1.5%	32.7%
女性計	289	48.1%	22.1%	20.1%	14.2%	14.9%	13.1%	15.2%	9.3%	9.0%	9.7%	7.3%	2.1%	29.1%

■彼氏・彼女とSNSでつながっていて「良かったこと」「悪かったこと」は、裏返しの結果に。

SNS上で彼氏・彼女とつながっていて「良かったこと」、「悪かったこと」をフリーアンサーで聞いたところ、「良かったこと」、「悪かったこと」共に、最も多かった回答は「特になし」だった。下記に、「特になし」を除く回答を集計し、ライキングを作成した。

「良かったこと」は、1位が「一緒にいなくても何をしているかわかる/近況がわかる」が90人でダントツ。

次いで、2位「連絡がとりやすい」(39人)、3位「話題を分かりあえる/情報を共有できる」(27人)がランクインした。

「悪かったこと」は、1位が「知られたくないことも知られてしまう/知りたくないことまで知ってしまう」で63人。2位は「浮気・嘘・秘密がばれた・ばれやすい」(32人)、3位は「自由に書けない・本音を言えない」(23人)と続いた。

アンテナ
Insight !

- つながっていて「良かったこと」を大別すると、下記の3つに区分される。
- ①相手の近況や情報が得られることによる、円滑なコミュニケーションの創造
 - ②つながっていることからくる安心感
 - ③連絡を取る際の便利さ・手軽さ
- 一方、「悪かったこと」を大別すると
- ①情報が全てオープンになってしまうことによる負のコミュニケーションの発生
 - ②つながっていることからの窮屈感・束縛感
 - ③便利な連絡手段ゆえのトラブル
- と、すべて裏返しの結果となった。

つまり、相手との関係性により、その捉え方が変わってくるのだろう。付き合いだての男女にとっては、いつでも相手の情報がわかることが、“メリット”と感じられる一方で、付き合い始めてから時間が経っている二人や、気持ちが離れ始めている二人にとっては、“デメリット”になっていることが想像できる。いや、“デメリット”を強く感じるようになることこそが、気持ちが離れ始めたことの象徴なのかもしれない。

<SNS上で彼氏・彼女とつながっていて良かったこと>

順位	良かったこと	回答人数
1位	一緒にいなくても何をしているかわかる/近況がわかる	90人
2位	連絡がとりやすい	39人
3位	話題を分かりあえる/情報を共有できる	27人
4位	昔の友人・連絡が取れなかった人と連絡がとれた/交流できた	24人
5位	相手の知らなかった面や考えていることがわかる	15人
6位	絆を感じられる/安心できる・させられる	13人
7位	相手の交友関係を知ることが出来る	12人
7位	友達・知り合いが増える	12人
9位	コメント等で仲が深められる	11人
10位	コミュニケーションがとりやすい	9人

<SNS上で彼氏・彼女とつながっていて悪かったこと>

順位	悪かったこと	回答人数
1位	知られたくないことも知られてしまう/知りたくないことまで知ってしまう	63人
2位	浮気・嘘・秘密がばれた/ばれやすい	32人
3位	自由に書けない・本音を言えない	23人
4位	面倒・うざい	19人
5位	他の異性とのやり取りを見て不快・不安になる	16人
6位	関わりたくない人から連絡等がくる/トラブルになる	15人
7位	他の異性とのやり取りがしづらい	12人
8位	常に相手が何を書いているか気になってしまう	9人
9位	別れた時に気まずい	8人
9位	監視・束縛されている気がする	8人
9位	リアルな場でのコミュニケーションが減る	8人
10位	些細なことで相手と喧嘩になる	6人

※ 特になし(162人)を除くランキング/有効回答数453

※ 特になし(199人)を除くランキング/有効回答数440

■恋愛にSNSを効果的に使う学生と、そうでない社会人

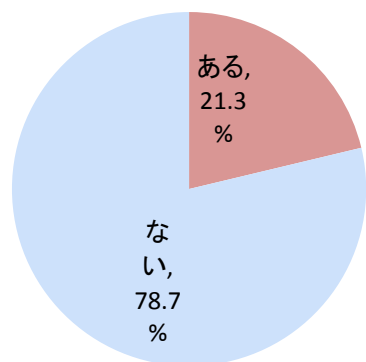
SNS上の発言や行動が、彼氏・彼女との関係に変化をもたらした経験があるかどうかを尋ねた。

SNSがきっかけで彼氏・彼女との関係がより良くなった経験が「ある」と答えた人は21.3%。逆に、喧嘩をしたり、関係が悪くなったりしたことが「ある」と答えた人は23.2%で、どちらの経験もほぼ同じ割合であった。

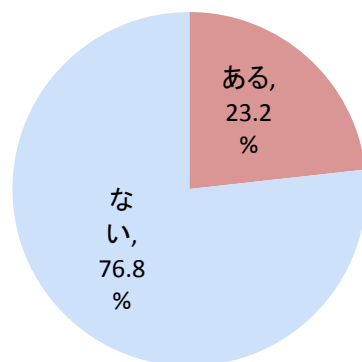
良くなった経験が「ある」と答えた人が最も多かったのは、女子学生(30.3%)で、次いで男子学生が26.1%で続いた。悪くなった経験が「ある」と答えた人が最も多かったのは、29歳以下の女性社会人で28.9%。次いで29歳以下の男性社会人で28.7%だった。30代の社会人は、男女共に、「良くなった」経験も「悪くなった」経験も、「ある」と答えた人は16~18%にとどまり、他の属性と比較して、低い割合をみせた。

総じて学生のほうが、社会人よりもSNSを彼氏・彼女との関係構築に効果的に利用していることが見て取れる。

Q. あなたは、SNS上の発言や行動がきっかけで、
彼氏・彼女との関係がより良くなったことはありますか？(SA)



Q. あなたは、SNS上の発言や行動がきっかけで、
彼氏・彼女と喧嘩をしたり、関係が悪くなったりしたことは
ありますか？(SA)



	n	ある	ない
全体	555	21.3%	78.7%
男子学生 (15歳以上)	69	26.1%	73.9%
男性社会人 (29歳以下)	87	23.0%	77.0%
男性社会人 (30代)	110	17.3%	82.7%
女子学生 (15歳以上)	89	30.3%	69.7%
女性社会人 (29歳以下)	90	17.8%	82.2%
女性社会人 (30代)	110	16.4%	83.6%
男性計	266	21.4%	78.6%
女性計	289	21.1%	78.9%

	n	ある	ない
全体	555	23.2%	76.8%
男子学生 (15歳以上)	69	23.2%	76.8%
男性社会人 (29歳以下)	87	28.7%	71.3%
男性社会人 (30代)	110	18.2%	81.8%
女子学生 (15歳以上)	89	25.8%	74.2%
女性社会人 (29歳以下)	90	28.9%	71.1%
女性社会人 (30代)	110	17.3%	82.7%
男性計	266	22.9%	77.1%
女性計	289	23.5%	76.5%

■情報共有・他人への関係性の公開が、ふたりの関係をより深めている

SNS上の発言や行動で、彼氏・彼女との関係が「より良くなった」経験がある人に、その理由を尋ねたところ、情報を共有することで気持ちが深まったエピソードを挙げる「愛情発展系」、情報共有そのものにメリットを感じている「情報共有系」、他人に二人の関係性を公開できることがプラスに働いた「自慢系」などの意見が見られた。

Q. SNS上の発言や行動がきっかけで、彼氏・彼女との関係が、より良くなった理由をお聞かせください。(FA)

愛情深化系	面と向かって言うほどでもない些細なことでも、つぶやけばお互いに気をつけられるから！	女性 (16)
	相手の嬉しいことや相手自身の投稿に対して同意したりほめたりすることで、相手が優しくなった	女性 (18)
	寂しいときも、直接は恥ずかしくて言わなかったけど、SNSに寂しいって書いたら会いにきてくれたりして関係がよかった	女性 (18)
	デートのあとにのろけをつぶやいたら愛のメールがきた	女性 (19)
	リアルタイムで電話等連絡できなくとも、写真やコメントに「いいね」をつけることでこまめにコミュニケーションを取れるようになったから	女性 (25)
	男友達をすごく大事にしているのが読み取れて、この人で良かったなと思った	女性 (22)
	二人で行った場所で撮った写真を載せて、いつでもお互いを大事にしている気持ちが伝わったから	男性 (27)
	普段、彼女に言いづらいことをSNS上で発言したら、それを読んだ彼女が「本当の気持ちを知られて良かった」と言ってくれた	男性 (28)
	趣味や好きなことに対する理解が深まり、相手を思いやる考えが身に付いた	男性 (31)
情報共有系	共通の会話で盛り上がれた。共通の友人が出来たりして行動の範囲が広がった	女性 (30)
	自分から誘わない彼の行動が見えたおかげでデートできた	女性 (36)
	二人の旅行の写真を二人だけで共有し、思い出を共有できた	男性 (24)
	状況説明が早い	男性 (26)
	付き合い当初は互いの動向がわかるので、会話の助けになったりすることが多くあった。互いに隠せない分、開き直って最初から交友関係をオープンにすることができた	男性 (34)
	メールや電話では分からない素の気持ちや考え方、今相手が何に対して興味や関心を持っているか、お互いに元気かなどの、日常の何気ない近況が手軽に確認できて連絡できるから(遠距離恋愛のため)	男性 (37)
自慢系	いつも一緒にいるのに、あえて“いいね”をつけてくれたり、嬉しいコメントを書いてくれるので、周りから素敵な彼氏といわれ、鼻がたかい	女性 (34)
	二人で出掛けた時、何度も写真をアップして、他の友人から「いいね」やコメントをもらったから	女性 (39)

■関係性の悪化の原因は、情報共有による、嘘の発覚や嫉妬

SNS上の発言や行動で、彼氏・彼女と「喧嘩をしたり、関係が悪化した」経験がある人に、その理由を尋ねたところ、嘘や浮気など知られたくない情報がバレてしまった「発覚系」、他の異性との交流が明らかになることで生まれる「嫉妬系」を挙げる声が多かった。

Q. SNS上の発言や行動がきっかけで、彼氏・彼女と喧嘩をしたり、関係が悪くなったりした理由をお聞かせください。(FA)

発覚系	デートに誘われた日に、友達と遊ぶ約束をしていたのがばれた	女性 (19)
	SNS上を通じて元カレから連絡が来て、連絡をとるきっかけができてしまい彼氏にだまって一度会ったことが他の友達の記録でバレた	女性 (26)
	他の人のコメントをみていたら仕事だというのにイベントに行くことが発覚したので、彼氏に追及したら、これも仕事だからって逆切れされた	女性 (31)
	知らない女の子が彼とのツーショット写真や、ラブラブ写真をプロフィール写真に掲載していたのをきっかけに浮気が発覚。別れた	女性 (34)
	急用が入ったと嘘をついたことがバレた	男性 (21)
	合コンがバレた	男性 (31)
	もともと話していたスケジュールと違うことをしているのがバレたときに、「何故か」と彼女から執拗に問われたため	男性 (32)
	時間が無いと言っていたのに、友人と一緒に出かけていたことが知られて、喧嘩になった	男性 (36)
	パチンコをしたり、友達と遊んだことを書いていたら、「凄く楽しそうじゃない?」と言われ、仲がまずくなった	男性 (39)
嫉妬系	異性の友人が多いことや、異性に楽しそうにコメントしていることで喧嘩になった	女性 (19)
	彼が、女の先輩と一緒に飲んでいる写真を見てしまい、それで口論になった	女性 (21)
	付き合う前に撮った異性との写真を載せていたら問い詰められた	女性 (22)
	サークルの仲間ととった写真(男女混合)をアップしたら、ヤキモチを焼いたらしく軽く喧嘩になってしまった	女性 (22)
	女性の先輩を彼がフォローしていたので、私が怒った	女性 (39)
	彼女から、元カノを友達から外して欲しい といわれてモメた	男性 (27)
	プロフィール情報に彼女がいるのにいないと記述していて、喧嘩になった事がある	男性 (32)

■別れても、SNS上の関係性は変わらない学生と、関係を解除する社会人

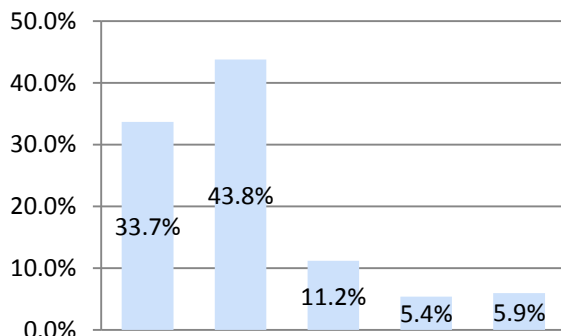
SNS上で彼氏・彼女とつながっていた場合、別れてしまった時にSNS上の関係をどのようにするか尋ねたところ、最も多かったのが「SNS上の友達関係（フォロー）」はそのままにして、アカウントの利用も続ける。利用方法も今までと変わらない」で43.8%。2位が「SNS上の友達関係（フォロー）を解除する」で33.7%となった。

「関係も使用頻度も変わらない」が1位を占めたものの、その内訳をみると、学生と社会人では異なる傾向が出ている。男女共に約60%の学生が「変わらない」を支持した一方で、30代男性社会人・29歳以下女性社会人、30代女性社会人では、「友達関係を解除する」が1位となった。

アンテナ Insight !

学生が「関係も使用頻度も変わらない」を支持する一方、社会人がそうでないのは、やはり、学生と社会人では、付き合うことの“意味の重さ”が異なることが推察される。社会人ともなると、結婚まで意識して付き合っているケースもまああると想定され、その付き合いが破局した場合、元通りの友達に戻れるかどうかは非常にセンシティブ。SNS上であっても関係を維持するのは難しいのではないだろうか。

Q. あなたがSNS上で彼氏・彼女とつながっていた場合、別れてしまった時に、SNS上の関係はどのようにしますか？(SA)



■ SNS上の友達関係(フォロー)を解除する

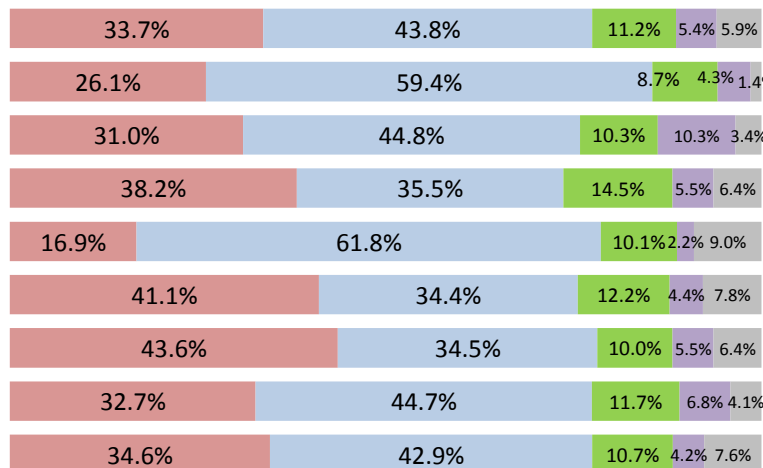
■ SNS上の友達関係(フォロー)はそのままにして、そのアカウントの利用も続ける。利用方法も今までと変わらない

■ SNS上の友達関係(フォロー)はそのままにして、そのアカウントの利用も続けるが、書く内容や頻度を変える

■ SNS上の友達関係(フォロー)はそのままにするが、そのアカウントの利用をやめる

■ その他

	n	SNS上の友達関係(フォロー)を解除する	SNS上の友達関係(フォロー)はそのままにして、そのアカウントの利用も続ける。利用方法も今までと変わらない	SNS上の友達関係(フォロー)はそのままにして、そのアカウントの利用も続けるが、書く内容や頻度を変える	SNS上の友達関係(フォロー)はそのままにするが、そのアカウントの利用をやめる	その他
全体	555	33.7%	43.8%	11.2%	5.4%	5.9%
男子学生(15歳以上)	69	26.1%	59.4%	8.7%	4.3%	1.4%
男性社会人(29歳以下)	87	31.0%	44.8%	10.3%	10.3%	3.4%
男性社会人(30代)	110	38.2%	35.5%	14.5%	5.5%	6.4%
女子学生(15歳以上)	89	16.9%	61.8%	10.1%	2.2%	9.0%
女性社会人(29歳以下)	90	41.1%	34.4%	12.2%	4.4%	7.8%
女性社会人(30代)	110	43.6%	34.5%	10.0%	5.5%	6.4%
男性計	266	32.7%	44.7%	11.7%	6.8%	4.1%
女性計	289	34.6%	42.9%	10.7%	4.2%	7.6%



■SNSは恋のハンティングツール。きっかけづくりには有用だが、関係維持には不要

恋愛をする上でSNSは必要なツールかどうかを聞いたところ、好きな(気になる)異性とコミュニケーションをとるツールとしては、半数以上の56.4%（「必要だと思う」「あってもいい・あったら活用する」の合計）の人が利用に積極的・好意的な姿勢を見せた。

ところが、その関係が好きな(気になる)対象から、彼氏・彼女に変化した場合、その支持率は一気に陰りを見せる。彼氏・彼女との恋愛関係を維持するツールとしては、「必要ない」と答えた人が38.6%で1位。利用に積極的・好意的な人（「必要だと思う」「あってもいい・あったら活用する」の合計/35.5%）を上回る結果となった。

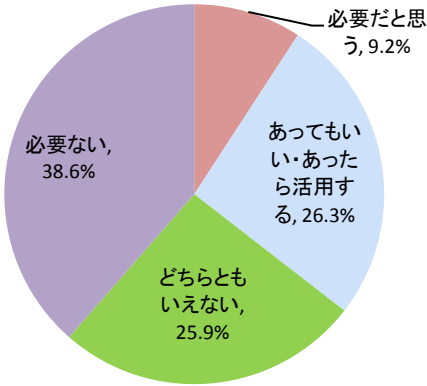
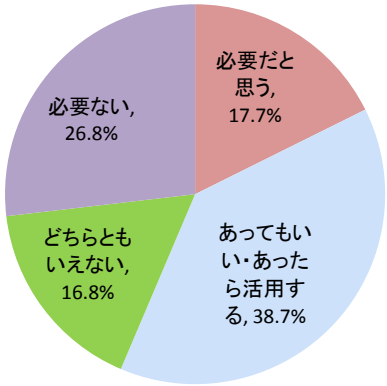
アンテナ
Insight !

相手の趣味や思考、行動など、相手の様々な情報を知ることができるSNSは、好きな異性との関係を深めるための“きっかけ作り”、“コミュニケーション醸成ツール”としては、有益とされているようだ。

ところが、相手が、彼氏・彼女となると、状況は一変。情報が共有されすぎる点がネックとなるのだろう。

Q. あなたは、恋愛する上でSNSは必要ツールだと思いますか？(SA)

<好きな(気になる)異性とコミュニケーションをとるツールとして> <彼氏・彼女との恋愛関係を維持する上で>



		必要だと思ふ	あってもいい・あったら活用する	どちらともいえない	必要ない
全体	555	17.7%	38.7%	16.8%	26.8%
男子学生 (15歳以上)	69	29.0%	29.0%	21.7%	20.3%
男性社会人 (29歳以下)	87	24.1%	36.8%	14.9%	24.1%
男性社会人 (30代)	110	11.8%	44.5%	16.4%	27.3%
女子学生 (15歳以上)	89	23.6%	40.4%	14.6%	21.3%
女性社会人 (29歳以下)	90	17.8%	41.1%	16.7%	24.4%
女性社会人 (30代)	110	6.4%	37.3%	17.3%	39.1%
男性計	266	20.3%	38.0%	17.3%	24.4%
女性計	289	15.2%	39.4%	16.3%	29.1%

		必要だと思ふ	あってもいい・あったら活用する	どちらともいえない	必要ない
全体	555	9.2%	26.3%	25.9%	38.6%
男子学生 (15歳以上)	69	10.1%	24.6%	30.4%	34.8%
男性社会人 (29歳以下)	87	14.9%	32.2%	25.3%	27.6%
男性社会人 (30代)	110	10.9%	20.0%	29.1%	40.0%
女子学生 (15歳以上)	89	6.7%	27.0%	27.0%	39.3%
女性社会人 (29歳以下)	90	11.1%	31.1%	25.6%	32.2%
女性社会人 (30代)	110	2.7%	24.5%	20.0%	52.7%
男性計	266	12.0%	25.2%	28.2%	34.6%
女性計	289	6.6%	27.3%	23.9%	42.2%

■SNSで恋する学生と、慎重な社会人

SNSをきっかけに、異性と親しくなったり、彼氏・彼女ができたことがあるかを尋ねたところ、「彼氏・彼女ほどではないが、親しくなった異性ができた」と答えた人は3割を超えた(36.6%)。年代・ステージ属性別に見ると、女子学生が最も多く、47.2%。次いで、男子学生(44.9%)、29歳以下男性社会人(44.8%)と続いた。一方、最も低かったのは、30代女性社会人で、78.2%の人が「いいえ」と回答した。

さらに一步進んで、「彼氏・彼女ができた」と回答したのは、2割弱(17.5%)。性・ステージ属性別に見て多かったのは、やはり学生。男子学生の26.1%、女子学生の23.6%が、SNSをきっかけに彼氏・彼女ができたことがあると答えている。

最も顕著な差が出たのが女子学生と30代女性社会人。親しくなった異性ができた経験も、彼氏ができた経験も、30代女性社会人は、女子学生の半分以上という結果になった。

いずれの場合も、30代社会人、29歳以下社会人、学生の順に、年代・ステージが若いほうが、SNSをきっかけにして、異性と親しくなったり、彼氏・彼女ができる傾向にあることがわかる。

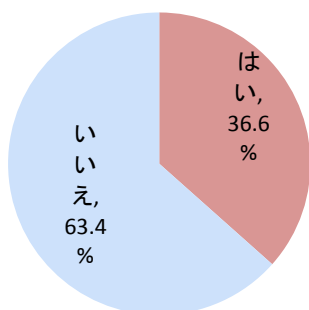
アンテナ Insight !

この結果から、学生にとっては、SNSがある程度恋愛スタートツールになっていることが、見てとれる。
今の学生は、恋愛を意識し始める年代のころから、携帯電話はもちろん、スマートフォンやSNSがあって当たり前の環境下にある、“デジタルネイティブ世代”のため、SNSをきっかけに恋愛をするということに、抵抗が薄いことが考えられる。

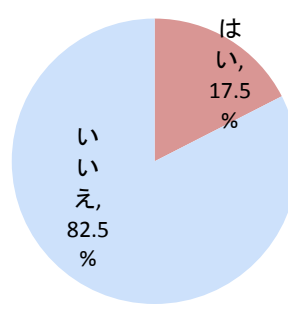
一方で、学生と比較して、社会人、特に30代にとっては、SNSは恋愛のきっかけにはなりにくいようだ。

Q. あなたは、SNSがきっかけで、異性と親しくなったり、彼氏・彼女ができたことはありますか？(SA)

<彼氏・彼女ほどではないが、親しくなった異性ができた>



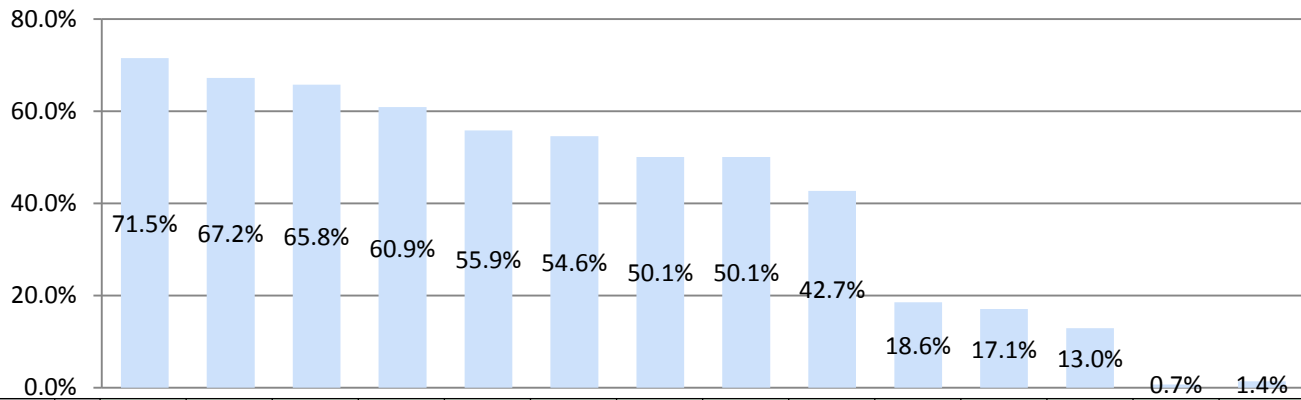
<彼氏・彼女ができた>



	n	はい	いいえ
全体	555	36.6%	63.4%
男子学生(15歳以上)	69	44.9%	55.1%
男性社会人(29歳以下)	87	44.8%	55.2%
男性社会人(30代)	110	35.5%	64.5%
女子学生(15歳以上)	89	47.2%	52.8%
女性社会人(29歳以下)	90	31.1%	68.9%
女性社会人(30代)	110	21.8%	78.2%
男性計	266	41.0%	59.0%
女性計	289	32.5%	67.5%
学生計	158	46.2%	53.8%
社会人計(29歳以下)	177	37.9%	62.1%
社会人計(30代)	220	28.6%	71.4%

	n	はい	いいえ
全体	555	17.5%	82.5%
男子学生(15歳以上)	69	26.1%	73.9%
男性社会人(29歳以下)	87	17.2%	82.8%
男性社会人(30代)	110	16.4%	83.6%
女子学生(15歳以上)	89	23.6%	76.4%
女性社会人(29歳以下)	90	13.3%	86.7%
女性社会人(30代)	110	11.8%	88.2%
男性計	266	19.2%	80.8%
女性計	289	15.9%	84.1%
学生計	158	24.7%	75.3%
社会人計(29歳以下)	177	15.3%	84.7%
社会人計(30代)	220	14.1%	85.9%

Q. あなたは、SNSのプロフィール上で、
何の項目を公開していますか？下記の中からお答えください。（MA）



	n	ニックネーム	本名	生年月日	趣味	年齢	在学・出身校	自分の写真	血液型	居住地	交際ステータス（未婚・交際中など）	勤務先	最寄駅	その他	この中にはない
全体	555	71.5%	67.2%	65.8%	60.9%	55.9%	54.6%	50.1%	50.1%	42.7%	18.6%	17.1%	13.0%	0.7%	1.4%
男子学生（15歳以上）	69	71.0%	63.8%	69.6%	63.8%	63.8%	63.8%	46.4%	47.8%	29.0%	11.6%	5.8%	18.8%	0.0%	2.9%
男性社会人（29歳以下）	87	73.6%	71.3%	71.3%	59.8%	67.8%	54.0%	50.6%	49.4%	46.0%	20.7%	21.8%	14.9%	0.0%	0.0%
男性社会人（30代）	110	70.0%	62.7%	57.3%	58.2%	55.5%	45.5%	42.7%	56.4%	39.1%	20.0%	23.6%	19.1%	0.9%	2.7%
女子学生（15歳以上）	89	77.5%	71.9%	80.9%	71.9%	67.4%	70.8%	68.5%	52.8%	47.2%	18.0%	6.7%	5.6%	1.1%	1.1%
女性社会人（29歳以下）	90	75.6%	72.2%	75.6%	58.9%	60.0%	56.7%	60.0%	60.0%	51.1%	26.7%	26.7%	16.7%	1.1%	0.0%
女性社会人（30代）	110	63.6%	62.7%	47.3%	55.5%	29.1%	43.6%	36.4%	35.5%	41.8%	13.6%	14.5%	4.5%	0.9%	1.8%
男性計	266	71.4%	65.8%	65.0%	60.2%	61.7%	53.0%	46.2%	51.9%	38.7%	18.0%	18.4%	17.7%	0.4%	1.9%
女性計	289	71.6%	68.5%	66.4%	61.6%	50.5%	56.1%	53.6%	48.4%	46.4%	19.0%	15.9%	8.7%	1.0%	1.0%